



ピアノ：島津 拓実

Takumi Shimazu

フッペル鳥栖ピアノコンクール 2023 フッペル部門優勝者

福岡県北九州市出身。3歳からヤマハ音楽教室で学び、ヤマハマスタークラス修了。第23回日本クラシック音楽コンクール中学生の部全国大会第3位、第26回/30回九州・山口ジュニアピアノコンクールグランプリ、飯塚新人音楽コンクール第3位。第29回フッペル鳥栖コンクールフッペル部門にて第1位、併せて月光賞受賞。これまで上原真理子、國谷尊之、永野栄子、青柳晋の各氏に師事。福岡県立戸畑高等学校普通科を経て東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業後、現在同大学大学院修士課程音楽研究科器楽専攻ピアノ研究分野2年に在籍。ソロ活動の他、学部時より声楽伴奏も積極的に行う。



ピアノ：山中 春慶

Haruyoshi Yamanaka

フッペル鳥栖ピアノコンクール 2023 ジュニア部門優秀者

2015年生まれ。3歳よりピアノを始める。2021年ピティナピアノコンペティション A2 級優秀賞。2023年ピティナピアノコンペティション A1 級奨励賞。第33回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第29回フッペル鳥栖ピアノコンクールジュニア部門 A コース小学1.2年の部第1位並びにジュニア部門 A コース優秀賞。2024年ピティナピアノコンペティション B 級優秀賞。同年、野原みどり氏のマスタークラス受講。これまで桂暢子氏に、現在、黒木遼氏に師事。



指揮：橘 直貴

Naotaka Tachibana

桐朋学園大学卒業後、ウィーン国立音大で湯浅勇治氏に師事。2001年ブザンソン国際指揮者コンクール・ファイナリスト及び聴衆賞受賞。2007年バルトーク国際オペラ指揮者コンクールで優勝し、ルーマニア、スロヴァキア、ブルガリアの国立歌劇場に出演。これまでに、トゥールーズ・キャピトル国立管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、読売日本交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィル、広島交響楽団、関西フィル他に客演。東京室内管弦楽団のプリンシパルコンダクター、またコンセール・エクラタン福岡の音楽監督として活躍。ヴィオラ・ダ・ガンバを神戸愉樹美氏、声楽を櫻井元希氏に師事しており、古典的アプローチにも積極的に取り組んでいる。【公式ホームページ】 <http://www.naotakatachibana.com/>

コンセール・エクラタン福岡 (CEF)

フランス語でコンセールは“音楽会”、エクラタンは“輝かしい”を意味する。2012年4月、指揮者の橘直貴と九州・福岡を拠点に活動する演奏家によって結成。2017年1月より一般社団法人九州音楽文化振興会に属し、プロのオーケストラとしての新たな一歩を踏み出した。バロックから現代まで幅広い時代のプログラムに取り組み、各時代に適した奏法、表現を追求することで、音楽の魅力を最大限に引き出したいというコンセプトを掲げている。公演は多岐にわたり、オリジナル楽器での古楽シリーズ、ガット弦を用いてのオーケストラ公演、プロとアマチュア奏者が共に作り上げる「一日かぎりのオーケストラ」公演、合唱団やバレエ団との共演など、独創的な活動を展開している。【公式ホームページ】 <https://www.eclatants.com>



ヴァイオリン：緒方 愛子、松岡 祐美、瀧口 直毅、堀井 亜紀子、後藤 薫子、桑田 幸実、倉田 輝美、城田 恵
吉原 康平、菅原 文子、大谷 英里子

ヴィオラ：松隈 聡子、上山 文子、友松 愛、中村 はるみ
チェロ：日高 航太、宮本 百合子、堀川 真理子、池田 知愛
フルート：松本 優哉、靱山 仁美
クラリネット：松川 久美子、東出 菜々
ホルン：松田 俊太郎、伊藤 咲、村田 真一、城丸 幸弘
トロンボーン：川鶴 奈都美

コントラバス：杉上 あつこ、藤原 沙樹
オーボエ：石綿 千乃、岩崎 香奈
ファゴット：浦野 さやか、國頭 彩
トランペット：渡邊 裕介、下村 優子
ティンパニ：倉永 淳



～鳥栖市市制施行70周年記念事業～

公益財団法人 二又教育文化振興奨学会 presents



特別協賛 久留米運送株式会社

コンセール・エクラタン福岡

鳥栖公演

～フッペル鳥栖ピアノコンクール2023

フッペル部門優勝者及びジュニア部門優秀者を迎えて～

2024年 **11月23日(土・祝)**

開場 13:15 / 開演 14:00

鳥栖市民文化会館大ホール

(佐賀県鳥栖市宿町 807-17)

13:40～指揮者アレーナ『マエストロ橘によるオーケストラの楽器のお話』

鳥栖市には、ドイツ フッペル社製の古いピアノがあります。第2次世界大戦終結間近、2人の特攻隊員が鳥栖小学校を訪れ、同校にあったこのピアノで、この世の名残にベートーヴェンの「月光」を奏でたと伝えられています。フッペル鳥栖ピアノコンクールは、この悲話にこめられた平和への祈りを次世代へ伝え、音楽による平和文化の創造を願って実施しています。本日は、「フッペル鳥栖ピアノコンクール 2023」フッペル部門優勝者の島津拓実さん、ジュニア部門優秀者の山中春慶さんとコンセール・エクラタン福岡による素晴らしい共演をお楽しみください。



主催 鳥栖市、鳥栖市教育委員会、フッペル鳥栖ピアノコンクール実行委員会

協賛 (株)旭日緑化建設、(株)天本緑地造園、(株)有明電設鳥栖営業所、今泉建設(株)、(株)イマムラ、(株)ウェルビジョン九州、(有)ウラカワ、(株)大島、小川楽器(株)、(株)栗山建設、(株)サンビルサービスセンター鳥栖支店、(株)シグマ鳥栖営業所、(株)篠原建設、(株)伸晃建設、(株)鳥栖構内タクシー、(株)トス・ステージサービス、(株)トスプロ、林保冷工業(株)、(有)久光印刷、(株)マツコー、(株)マベック鳥栖営業所、(株)山田電気設備

後援 佐賀県、佐賀県教育委員会、福岡県、福岡県教育委員会

特別協力 鳥栖市文化事業協会

協力 NPO法人 Music Network すみれ会

Program

〔第1部〕

W.A.モーツァルト／「フィガロの結婚」序曲 K.492

W.A.モーツァルト／ピアノ協奏曲 第1番 ヘ長調 K.37 第1楽章

ピアノ：山中 春慶

—— 休 憩（15分） ——

〔第2部〕

F. ショパン／ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

ピアノ：島津 拓実

《楽曲解説》

◆W.A.モーツァルト：「フィガロの結婚」序曲 K.492

歌劇『フィガロの結婚』は、伯爵の召使いフィガロと恋人スザンナの結婚をめぐる1日の騒動が生き活きと描かれた痛快ドタバタコメディ作品で、モーツァルトの歌劇の中でも特に人気のある名作のひとつです。

『恋とはどんなものかしら』『もう飛ぶまいぞ、この蝶々』など、一度は聴いたことのある有名な曲がたくさん散りばめられています。

『フィガロの結婚 序曲』は単独で演奏される機会も多く、本日の公演の幕開けに相応しい作品です。 (解説：松本 優哉)

◆W.A.モーツァルト：ピアノ協奏曲 第1番 ヘ長調 K.37 第1楽章

第1楽章 ヘ長調 4分の4拍子

モーツァルトが作曲したオリジナルのピアノ協奏曲は第5番からで、1767年に作曲された第1番から第4番までのピアノ協奏曲は他者の作品からの編曲であることが分かっています。

本日、演奏するピアノ協奏曲 第1番 第1楽章は、ヘルマン・フリードリヒ・ラウパッハの『ヴァイオリン・ソナタ ヘ長調 作品1-5』を元にしています。

ラウパッハは北ドイツ出身で、サンクトペテルブルクで活躍しました。モーツァルトがラウパッハと出会ったのは1766年ごろと思われ、幼いモーツァルトは先輩作曲家との交流の中で様々な音楽に触れ、自身の才能を開花させていったのではないのでしょうか。

(解説：松本 優哉)

今回はオーケストラの皆さんと一緒に演奏ができて、とても嬉しく思っています。コンチェルトは初めてなので、ワクワクしています。毎日たくさん練習して、この曲が大好きになりました。心を込めて演奏したいと思います。 (ピアノ：山中 春慶)

◆F. ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

ショパンコンクール本選でもお馴染みの名曲です。古典的な作りの中にポーランド風の素朴なモチーフやショパンならではの流麗かつ甘い旋律が、この曲の最大の魅力となっています。ちなみに、ショパンはこの曲を作曲したあと、祖国ポーランドを出て、二度と戻ることはありませんでした。

第1楽章 アレグロ・マエストーソ ホ短調 4分の3拍子

協奏風ソナタ形式。オーケストラによってマズルカ風の第1主題とポロネーズ風の副主題、第2主題が演奏された後、独奏ピアノが登場し、終始華やかに曲が展開されます。

第2楽章 ロマンズ ホ長調 4分の4拍子

この楽章については、作曲者自身「美しい春の月明かりの夜のような」と語っています。弱音器付きの弦楽器の序奏に続いて、独奏ピアノによる美しい主題が演奏されます。中間部でのファゴットによる対旋律も聴きどころのひとつです。切れ目なくそのまま第3楽章へと続きます。

第3楽章 ロンド ホ長調 4分の2拍子

短い序奏の後、ポーランドの民族舞踊の1つである「クラコヴィアク」を基にした華やかなロンドが演奏されます。オーケストラとピアノが掛け合い、途中に民謡調のエピソードを登場させながら、堂々としたクライマックスを迎えます。特に高度な技術が求められるコーダ部分のパッセージは、最大の見せ場の一つとなっています (解説 松本優哉)

こんにちは。本日はお越しいただきまして誠にありがとうございます。

今回は素晴らしい機会をいただけて大変嬉しく思います。また、平素よりお世話になっております先生、家族と友人に心より御礼申し上げます。

いつか挑戦したいと考えておりましたショパンの協奏曲1番を演奏できるということで、お越しいただいた皆様に本曲の歌心溢れる旋律とどこか儚い世界をお届け出来ればと思います。

どうぞショパンの世界を最後までお楽しみくださいませ。 (ピアノ：島津 拓実)

♪指揮者からのメッセージ♪

鳥栖にはフッペル社のピアノが大切に保存されています。この名を冠し1995年より始まったフッペル鳥栖ピアノコンクールでは、国内外で活躍する優れたピアニストが多く巣立っています。この催しを継続し未来へ繋ごうという鳥栖の皆さまの取り組みに心からの敬意を表します。平和のシンボルとしてフッペル社ピアノのエピソードが語り継がれ多くの人々の記憶に残り、鳥栖市が文化的でより注目される街へと発展しますように。

昨年度のフッペル部門優勝者である島津拓実さん、ジュニア部門の優秀者である山中春慶さんのお二人とコンセール・エクラン福岡の共演のコンサート、若き才能とオーケストラとの刺激と感動に溢れるひととき、生演奏の素晴らしさを鳥栖市民文化会館で是非お楽しみ下さい。 (橘 直貴)